

令和3年度 食のまちづくり推進活動補助金 採択事業実績一覧

	事業主体	構成人数	事業名	事業実績	補助交付額
1	有機農業実行委員会	5	有機小麦でうどん打ち体験をしよう！	収穫した有機小麦を製粉し、親子の部、大人の部と分けてうどん打ち体験会を開催した。大変楽しい会になったとともに、なるべく国産小麦を食べる必要性があることや、農薬のことなど食育を学ぶ良い機会となった。	90,000
2	HATŌZU プロジェクト	7	心も体も喜ぶHATŌZUリラクゼーション	幅広い年齢を対象に、食とアートを体験していただくために、梅採り体験、スイカ畑の収穫等を開催した。また、オーガニック食材を使用したカフェを期間限定で開き、オーガニックスイーツを堪能していただいた。食の体験と合わせて、アートのワークショップを開催することで、波当津の魅力やアートの楽しさ、地元食材の美味しさ等を感じていただけた。	100,000
3	しろやま共同保育園	47	ひろがれひろがれしろやまの輪	しろやま共同保育園の子どもを対象に、年間通して、しいたけのコマうち体験などの農業体験や、ひじきふりかけ作り、味噌作りなどの手作り体験を通して親子が共に食の大切さや佐伯の豊かさについて語り合い、情報や体験を共有することができた。子ども達にとって貴重な体験となった。	100,000
4	つなぐ	9	食べる野草の普及 ～学習と実践～	親子を対象に、野草茶作り体験、菜の花の種まき体験、やさい植え体験、野草を使った食事を作る会を開催した。身近にある野草が食べられ、身体に良いことを楽しく学んだり、土について学べる講座となった。楽しく佐伯市の自然や食について学んでもらうことができ、大変有意義な会となった。	100,000
5	畑野浦地区公民館運営委員会	9	郷土料理教室	子どもから高齢の方を対象とした郷土料理教室を開催する予定であったが、感染症対策として、有志の方で作った郷土料理をレシピと合わせて配る内容に変更した。実際に料理教室を行えず残念ではあったが、レシピを配ることで地域の郷土料理を若い世代の方々にも知っていただけるきっかけ作りができた。	60,000
6	食と子育てを楽しむ会 「食・子・楽(しょくら)」	6	「いただきます。」食べたものが私になる	親子で米作りから収穫、実食までを体験するイベントを開催し、自分たちが食べているものがどのように出来ているのか楽しく学んだ。新米のふるまい会では、様々な世代の方に来ていただき、新たな出会いの場となった。	100,000
7	子どもの未来を考える 大分母親の会	7	健康と豊かな食生活を実現するための食育活動	予定していた味噌作りセミナーは新型コロナウイルス感染症者増加のため、中止となったが団員で作った味噌を参加者に配布した。少人数での味噌を使った料理教室を開催し、味噌の活用方法を学ぶことができた。料理教室では味噌活用のイメージが変わったとの事で良いきっかけ作りとなった。	100,000
8	弥生で野草塾	6	身近にある野草を食卓につなげよう！	季節の野草を知る目的で、年3回の野草塾を開催。回を重ねるごとに人が増え、初めての参加者がいたり、幅広く参加してもらった。3回目は料理だけではなく、野草つみを行うこともでき、野草の知識を深めることが出来た。食べたもので身体が作られること、養生、といった講義を聞くことで普段の生活を見直す場となった。	100,000

令和3年度 食のまちづくり推進活動補助金 採択事業実績一覧

	事業主体	構成人数	事業名	事業実績	補助交付額
9	大分県立佐伯豊南高等学校	125	桜咲くSAIKIプロジェクト	ふるさと佐伯に誇りを持ち、持続可能な社会の担い手となるよう、食農ビジネス学科や地元企業、学校に協力をいただきながら、SDGsを意識した商品開発に取り組んだ。地元食材を使用した焼き菓子の商品化や佐伯市の特産物等をプリントした缶バッジの作成を子ども向けワークショップで行った。多くの方に佐伯の食について知っていただけるきっかけとなる取組が出来た。	100,000
10	日本山人参を守る会	12	日本山人参を守り育て、元気な佐伯人を増やす！	日本山人参を絶滅させない様、守り育てていき、事業化し、暮らしと健康を守るための活動を行った。佐伯市内に自生する日本山人参の調査・採取し、普及つなげるため、別府市の企業への訪問等を行った。また、佐伯市内の方に山人参の特徴や効能を知っていただくために「日本山人参を味わう会」を開催した。初めての方も多く、知っていただく良い機会となった。	100,000
11	Heart Warm2020	10	お魚ごはんサークル	大人から子どもまで幅広い世代を対象に、「おさかなごはんサークル」を全10回開催した。内1回は「プレお魚技術検定」も開催し、魚を捌く事の普及啓発が出来た。コロナ渦ということもあり、オンラインでのサークルも開催したり、魚釣り体験、他団体との交流等も行うことが出来た。様々な内容を通して魚を身近に感じてもらい、魚食普及に繋がった。	130,000
12	Maple Explorers UME	5	Maple Explorers UME	メイプル樹液採取体験を2月に予定していたが、新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置対象期間中の為中止。予定を変更し試食会を3月に2回開催した。それぞれ二日間調理と試食をしていただいたことで、メイプルシロップの味や活用方法、宇目産メイプルのストーリーを知っていただく場となった。	110,000
13	弥生母親クラブ ワイワイサークル	18	「どうやってできてるの？どうやって作るの？」	子どもたちの、「どうやってできるの？どうやって作るの？」という素朴な疑問を解決すべく、トマトやバジルの栽培やイチゴ農家の見学、その食材を使用した、パンやお菓子の調理体験を開催した。また、会のメンバーもつくったことが無い郷土料理を地元料理人に教わる事ができた。親子で実生活に活かせる食育体験ができ、貴重な機会となった。	110,000
14	鮎の食育普及活動協議会	6	魚食普及(あゆ)の食育促進事業	佐伯市の特産品である「鮎」を漁協内施設で塩焼きにして市内の子ども達やその父兄に食べてもらった。その結果、鮎のおいしさや香りを知ってもらうことができ、鮎の普及や食育促進を図ることができた。今回は中止等もあり計画通りに実施できないこともあったが今後も多くの方に食育普及を行っていきたい。	100,000

※申し込み順

(予算額)1,400,000円

(補助交付額合計)1,400,000円